

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	上下水道施設の長寿命化・耐震化(下水道施設)			
担当部・課名	上下水道局企画調整課	評価者(課長)	長廣 悦伸	評価責任者(部長)	久村 信幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600502	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	補助
	推進施策	(2)上下水道施設の長寿命化・耐震化			会計名	12下水道事業会計

事業の目的(対象)	下水道管や浄化センターなど下水道施設	事業の目的(意図)	下水道施設の適正な維持管理と計画的な更新更生を行う。
事業の内容(手段)	老朽化が進む下水道管の長寿命化計画(追加分)を平成29年度中に、下水道施設全体を俯瞰したストックマネジメント計画を平成29～平成30年度で策定し、計画に基づいて効率的に下水道施設の更新・更生を行う。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
	計画書策定実施数	実施業務数	業務	目標値	2.0	2.0	1.0
実績値				0.0	0.0		
達成度(%)				0.0%	0.0%		

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	20,000	20,000	25,000	50,000
うち一財		千円	10,000	10,000	12,500	25,000	0
(決算額)	直接事業費	千円	0	0		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	0	0		ストックマネジメント計画に係る情報を収集し、それに基づき積算した。(増額となる)	30年度までに両計画を策定する。31年度からは両計画に基づき調査や工事が始まる。
	正職員人件費	千円	0	0			
	人工数	人					
	支出コスト	千円	決)0	決)0			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成25年度に平成29年度までの管路長寿命化計画を策定し、管路の更新等を行っている。平成28年度から新たな老朽化対策を実施するためのストックマネジメント計画を策定することにした。	課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 平成28年度に老朽対策の国庫補助金支援制度が長寿命化支援制度からストックマネジメント支援制度に移行したが、ストックマネジメント計画策定に向けた情報が錯そうしている。
	評価	C	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由 スtockマネジメント計画策定マニュアル公表が遅れたため平成28年度は業務発注を取りやめ、県や国関係コンサルより情報の収集に努めた。
	事務事業の方向性	平成29年度は今の情報を基にストックマネジメント計画策定に着手するとともに、長寿命化計画もすでに調査済みの管路等の改築は平成32年度まで延伸が可能となったので、管路長寿命化計画(追加分)を策定する。	評価責任者コメント	管路長寿命化計画(追加分)の策定は、遅滞なく進める必要がある。下水道施設全体を俯瞰したストックマネジメント計画は、膨大は財源が必要となることが明らかであるので、計画内容等を慎重に検討する中で作業進捗を図りたい。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
平成28年度中に国、県、コンサルより収集した情報を基に方針を定め、平成29年度から策定に着手した。30年度は前年度の続きを行う。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	管路長寿命化計画策定	管路などの下水道施設の効率的な更新・改築及び維持管理を行う。	平成28年度は本計画策定実施無し	0			
②	下水道施設ストックマネジメント計画策定	下水道施設全体の効率的な更新・改築及び維持管理を行う。	平成28年度は本計画策定実施無し	0			
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	雨水排除施設の整備			
担当部・課名	上下水道局企画調整課	評価者(課長)	長廣 悦伸	評価責任者(部長)	久村 信幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600507	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	補助
	推進施策	(7)雨水排除施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的(対象)	浸水被害が頻発する市街地の低地	事業の目的(意図)	中開作地区、社地町、中溝地区の浸水被害の軽減
事業の内容(手段)	中開作地区、社地町は低地であり、集中豪雨時の浸水被害を軽減するために雨水函渠やポンプ施設の計画策定を行う。中溝地区は都市計画道路拡幅に伴う雨水函渠の基本計画を策定する。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値	5.0	5.0	4.0
					実績値	4.0	4.0	
					達成度(%)	80.0%	80.0%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	54,500	36,000	24,000	13,000	50,000
(予算額)	うち一財	千円	28,000	22,000	19,000	13,000	25,000
(決算額)	直接事業費	千円	48,473	28,212		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	25,500	14,131		中開作雨水ポンプ場整備に係る事業費(補助分)を当該で計上していたが下水道工務課で計上した。(減額となる)	中開作地区の雨水ポンプ場に係る計画が進みだす。
	正職員人件費	千円	0	0			
	人工数	人					
	支出コスト	千円	決) 48,473	決) 28,212			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	徳山駅北・南口周辺、川崎・南浦山地区、富田区画整理内において浸水被害を軽減するため雨水排除施設の整備を進めてきた。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 雨水排除施設の整備は用地買収、移転補償など困難な諸条件を解消する必要がある。また、国庫補助金内示額が要望額を大きく下回る場合は事業進捗に影響を及ぼす。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	用地関係で地域の皆様のご理解とご協力が得られない場合は業務の進捗に影響を及ぼす。
	事務事業の方向性	浸水対策事業は膨大な事業費と長い整備期間が必要なことから、少ない経緯費で早期に効果が発現するような雨水排除計画の策定に努めていく。また、浸水対策の要望が多い中、他事業と連携して行う必要のある箇所を優先的に計画していく。	評価責任者コメント	安心安全に係る重要な事業である。しかしながら、雨水対策は、一般会計が費用負担をする事業であるので、問題のある箇所を短期間で解消することは不可能である。局財政課、市長部局財政課と連携し、計画的な実施が不可欠である。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
限られた財源で他事業と連携して行う必要のある箇所を優先して行い、他地区は計画的に事業を進めていく。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	中開作地区雨水排除計画策定	中開作地内の豪雨時の浸水軽減を図る。	平成28年度は本地区計画策定実施無し				
②	社地町雨水排除計画策定	社地町の豪雨時の浸水軽減を図る。	平成28年度は本地区計画策定実施無し				
③	中溝地区雨水排除計画策定	中溝地区の豪雨時の浸水軽減を図る。	平成28年度は本地区計画策定実施無し				
④			椎木町、櫛浜、夜市地区で雨水排除計画を策定した	28,212			
				否			
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	汚水処理施設の整備			
担当部・課名	上下水道局企画調整課	評価者 (課長)	長廣 悦伸	評価責任者 (部長)	久村 信幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	11水道事業会計

事業の目的 (対象)	公共下水道の整備困難地区	事業の目的 (意図)	早期水洗化を図る
事業の内容 (手段)	下水道事業計画区域の整備困難地区において市街化区域及び用途地域内は整備計画を策定し、それ以外の地域は住民の方の同意を得て計画区域から削除し浄化槽で整備し水洗化を進める。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値	3.0	5.0	3.0
					実績値	3.0	2.0	
					達成度(%)	100.0%	40.0%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	60,000	50,000	17,000	5,000	0
(予算額)	うち一財	千円	30,000	35,000	17,000	5,000	0
(決算額)	直接事業費	千円	26,152	13,067		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	13,076	7,452		要望により、熊毛(原)地区の計画変更を行うことになった。	今現在、整備計画を策定する箇所の予定はない。
正職員人件費	千円	0	0				
人工数	人						
	支出コスト	千円	決) 26,152	決) 13,067			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	熊毛地域、新南陽北部、鹿野地域の整備困難区のうち住民の同意が得られた地区は計画区域から削除した。整備困難地域における整備の基本方針に基づき、市街化区域及び用途地域内の整備計画を優先して策定してきた。	課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 計画区域からの削除は地元の皆様の同意が必要で、整備計画を立てる場合も地権者等のご理解や協力が必要な場合が多く、これらに多くの労力と時間を要している。
	評価	C	達成度と結びつかない場合の理由	地元の皆様の同意形成が困難な場合は思うように進捗が図れない。
	事務事業の方向性	市街化区域でも30年以上整備されていない地域がる。市街化区域は下水道整備の責務があるため、市街化区域の整備を優先して計画を策定していく。	評価責任者コメント	基本的に事業の方向性のとおり、計画的に実施することが必要である。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
熊毛の原地区は用途地域であり下水道整備の責務がある。今後の工事の際に事業費が安価となるよう計画(ルートや工法)を見直す。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	整備困難地区の基本計画等策定	効率的・経済的な未整備地区の整備計画を策定する。	櫛ヶ浜、遠見地区で基本計画を策定した。	13,067 否	1.00	0.00	
②	下水道計画区域の見直し	下水道計画区域を見直し、早期に水洗化する。	熊毛(勝間上・白石)地区の見直しを行った。	0 否	0.70	0.00	
③							
④							
⑤							